

議会運営委員会会議録（要旨）

日 時	令和7年3月12日（水） 午前9時10分～午前9時38分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 委員会室
出席委員	委員長 大島令子 副委員長 田崎あきひさ 委 員 岡崎つよし 川合ともゆき ささせ順子 富田えいじ 野村 弘 山田かずひこ
職務のため 出席した者 の職氏名	市 長 佐藤有美 総務部長 加藤英之 次長 福岡隆也 行政課長 山田美代子 財政課長 井上隆雄 議 長 木村さゆり 委員外議員 山田けんたろう わたなべさつ子 事務局長 横地賢一 議事課長 福岡弘恵 議事係長 村瀬紗綾香

1 あいさつ
議長
市長

2 議題

(1) 令和7年第1回長久手市議会定例会議事日程について

ア 市長提出議案について

＜説明：総務部長、総務部次長、財政課長＞

・追加議案第28号

(委員長) 説明のとおりの内容でよいか。

＜異議なし＞

＜市長、総務部長、総務部次長、行政課長、財政課長退席＞

イ 本日の本会議開議及び議事日程について

(議長) 今、執行部から追加提出の説明があった議案第28号について、本日の予算決算委員会で審査するには、先に本会議を開いて委員会付託をしないとできないので、私としては本会議の開議が必要だと考えている。

本日、予算決算委員会の前に本会議を開くことについて、協議いただきたい。

(委員長) 議長の提案に対し、意見はあるか。

(岡崎委員) 議長の提案どおりに進めるのが筋である。

(富田委員) 本会議を開くのがよい。

(委員長) 通常は、最終日の本会議に上程して委員会付託し、同日に予算決算委員会を

開いて審査している。今回の議案を通常と違う扱いにするのはなぜか、議長に伺う。

(議長) 追加議案第 28 号は、議案第 2 号令和 7 年度長久手市一般会計予算に計上されている債務負担行為の一部を廃止するものである。本日の予算決算委員会では議案第 2 号の採決等を行うが、追加議案第 28 号の審査をした上で行った方が内容が整理されるのでよいと考えるからである。

(委員長) 私は、この債務負担行為は令和 8 年度の予算を確保するだけのものであり、それを執行するための条例制定議案が撤回されていても、法的には問題ないと聞いている。前もって開催日時の決まっている予算決算委員会を遅らせてまで、本会議を開かなければならないことには納得がいかない。

本会議を開くことについて、聞いていない委員もいると思うがどうか。

(野村委員) あまり経験がないので正しい判断が分からない。本会議を開いても開かなくても、どちらでもよいということか。

(委員長) 通常は、最終日に上程している。決まりはない。

(山田委員) 議案第 2 号の債務負担行為に対し、予算決算委員会で修正案の提出が予定されているという話もある。先に議案第 28 号を本会議に上程し、委員会付託して審査をした方がわかりやすい。

(委員長) 修正案を出すというのは議員個人の政治的な判断であり、議会運営を考える上で特定の議員や会派に便宜を図る運用はしたくない。

今定例会の会期日程は 2 月 6 日の委員会で決まっており、昨日の今日という唐突な話で本会議を開くことには反対である。

(議長) 全委員の総意で決めるべきなので、全ての委員に意見を聞き、結論を出してほしい。

(副委員長) 本日の予算決算委員会で、撤回された議案第 21 号に係る債務負担行為を残したまま、議案第 2 号の採決をすることを懸念する声があるため、その債務負担行為を廃止する追加議案第 28 号を先に審査できるように、本会議を開いて委員会付託を行うこととしてはどうか、という議長の提案である。

唐突な話であるという委員長の反対意見も分かるが、イレギュラーなことにも、必要に応じて対応していくべきだと思う。

議長の発言のとおり、全委員の総意で決めるべきだと思うがどうか。

(委員長) 私は反対であるが、議長の提案どおり、本日本会議を開くことに賛成の委員は挙手願う。

<副委員長、岡崎委員、川合委員、ささせ委員、富田委員、野村委員、山田委員 挙手>

(委員長) 本日、予算決算委員会の前に本会議を開くこととする。

議事日程について、事務局より説明願う。

<説明：事務局>

・第 6 号 諸般の報告

議案第 28 号 (上程、説明、議案質疑、委員会付託)

(委員長) 説明のと通りの議事日程でよいか。

<異議なし>

(委員長) 議案第 28 号の付託先は予算決算委員会とし、分科会に送付せず委員会で審査することとしてよいか。

<異議なし>

(委員長) 次回は令和 7 年 3 月 14 日 (金) 午前 10 時

以上で議会運営委員会を終了する。